

「ワンちゃんの爪切りをしてみよう！」

人間と同じでワンちゃんの爪も一生伸び続け、伸び過ぎた爪はケガや事故の原因になったり、関節や歩行にも悪影響を及ぼします。爪切りは生涯必要なケアだからこそ、家庭で出来れば良いですね。

お散歩で爪が磨耗される場合でも、特に狼爪（右図参照）は巻爪になりやすく、注意が必要です。

今回は、ご相談を受けることの多いワンちゃんの爪切りの仕方について、詳しくお話ししたいと思います。

ただし、すでに爪切りが大嫌いで、噛んでくるなど強い攻撃性が見られる場合は、専門家に任せたほうが良いでしょう。

上手に慣らすコツは、無理をせず（格闘せず）徐々に慣らす事です。もちろんなるべく小さい時期から始めるのが効果的です。一度の深爪がトラウマになり、次からさせてくれなくなることもよくあるので、まずは飼主さんが正しいやり方を覚えて下さい。



1.まずは足先を触ってみよう

実際爪を切る前に、まずは足先を触ってみましょう。この時点で激しく嫌がるなら、家庭での爪切りは難しいかもしれません。少し抵抗する位なら、好物を噛ませている間に触ってみる、触った直後にゴホウビを与える、褒めるなどして足先を触られることに慣らす練習を繰り返しましょう。はじめは1,2秒から徐々に時間を延ばしていきましょう。

足先を触っても嫌がらないなら、いよいよ爪を切ってみましょう！

2.準備するもの

- ・ 爪きり：ギロチン型
基本的な形。



- ・ はさみ型
狼爪や巻き爪、大型犬や超小型犬の爪きりに便利。

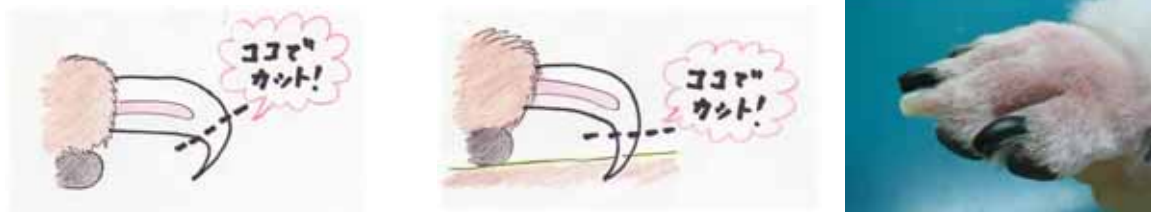


- ・ あれば止血剤（クイックストップなど、ペットショップで購入できます。）
- ・ ゴホウビの好物

3.爪の構造、切る位置について

爪を切る前に、爪の構造を知っておきましょう。爪をよく見ると、中にピンク色の部分(下図参照)が確認できると思います。この部分には血管や神経が通っていて、傷つけると出血しかなり痛がります。よく注意して、この部分の少し手前で切ってください。

爪が黒くてピンク部分がわかりにくい場合は、白爪を参考にしたり、接地する少し上(肉球より伸びてる部分)で切ると良いでしょう(下図参照)。



- ・ピンク部分の手前で切る。
- ・接地する少し上で切る。
- ・黒爪は白爪を参考に。

4、爪を切ってみよう

おとなしい子は1人で切ることも可能で、台を使うと動きを制限しやすいでしょう。ただし、安全のためには2人で、1人が押さえ役でもう1人が切ると良いでしょう(下図参照)。



- ・おとなしい子は抱き抱えて切っても良い。



- ・台を使うと動きを制限しやすい。



- ・2人で切ることをお薦め！
押さえ役は片手で犬の頭を押さえ、もう片手の肘で犬の体を押さえながら、犬の肘を伸ばす様を持つ。

無理をせず、初めは1日1本の爪きりを目標に、少しずつ慣らすことが大切です。大事なことはこまめに切ることです。長期間放置すると中の血管部分が延びてきて本来の位置で切れなくなります。

最後はとっておきのゴホウビと褒め言葉を忘れずに！ (獣医師 小崎美紀)